

# 指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	山形県源流の森	指定管理者	公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構
所在地	西置賜郡飯豊町大字須郷669-3	県担当課  (電話番号)	置賜総合支庁産業経済部森林整備課  (0238-35-9053)
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和7年3月31日		
検証期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
<b>1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況</b>			
① 管理・運營業務の履行状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度協定書等に基づき、施設の適切な維持管理に努めた。</li> <li>・経年劣化が進んでいる工作物や建物については、可能な範囲で修繕を行った。</li> <li>・インタープリターの協力のもと、常設プログラムや主催行事を実施した。常設プログラム利用者は新型コロナウイルス前に匹敵する4,200人余りに回復した。</li> </ul>	評価	<<評価の理由>> ・仕様書に基づき、概ね適正な管理運営が行われている。
		B	
② 管理・運営上の課題、問題点 (改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化が進んでいる工作物や建物について、修繕が遅滞しているものがある。著しい老朽箇所や損傷等が見られた際は、県へ報告し対象箇所の対応について協議を行っている。</li> <li>・イノシシ、サル等の出没が増加傾向にある。利用者への注意喚起や藪の刈払い等の対応を行っている。</li> </ul>	<<課題等の原因分析>> ・施設全体の老朽化が進んでいることから修繕箇所は増え続けている。また、修繕に係る資材費や人件費の高騰も加わり修繕に要する経費も上昇している。 ・毎年度修繕費の予算要求は行っているが、緊急度の高い修繕のみしか認められていない。そのため多くの修繕は先送り続き、修繕の見直しは全く立たない状況。	
		課題、問題点への今後の対応 ・施設整備の目的や来場者への十分なサービス提供に影響が出ないように、必要な施設修繕費については、引き続き予算要求を行っていく。 ・イノシシ、サル等野生鳥獣に関しては、今のところ被害発生はないが、指定管理者と連携し必要な対策を講じていく。	
<b>2 利用者からの要望等への対応</b>			
① 意見・要望等及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水没林観光期の渋滞対策には、大型バスを中心とした駐車場受け入れなど、飯豊町や町観光協会等と連携して取り組んだが、大型連休には渋滞が発生して利用者への支障が生じた。引き続き、関係機関と連携して同時期のスムーズな利用者の受け入れを図っていく。</li> </ul>	評価	<<評価の理由>> ・関係機関と連携して取り組んで柔軟に対応している。
		B	
意見・要望等への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水没林の人気の高さに乗ることで当施設への来場者数の増加も見込めることから、引き続き関係機関との連携を密にし、当施設として協力可能な事案については柔軟な対応を行っていく。なお、令和6年度は当施設の駐車場を活用してシャトルバスを運行するなど観光客の利便性の向上と渋滞緩和を図った。</li> </ul>		
<b>3 指定管理者制度活用の効果</b>			
① サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段の確保が困難な学童保育等に対する「出前教室」を継続して実施した。</li> <li>・ホームページの他、Facebook、子育て情報サイト、X(旧Twitter)を活用した情報発信を行い、県民にわかりやすく情報提供することに努めた。</li> <li>・「森のたより」を春と秋の2回作成し、置賜管内と周辺の小学校や幼稚園・保育園、公共施設等を中心に配布した。特に学校や学童保育等の団体利用拡大に成果が感じられた。</li> </ul>	評価	<<評価の理由>> ・団体利用の拡大など、取組みの成果が上がっている。
		B	
② 経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やまがたECOマネジメントシステム」の取組みにおいて、省エネルギーやカラーコピーの節減等に努めた。</li> <li>・修繕に関して、可能なものは職員自らまたはインタープリターと協力して行うなど、経費削減に努めた。</li> </ul>	評価	<<評価の理由>> ・修繕に関してはインタープリターの協力も仰ぎながら工夫しながら実施している。
		B	
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉施設と連携した「遊・湯パック」を継続して実施した。</li> <li>・主催行事の材料として地元産品を積極的に採り入れた。</li> <li>・主催行事において、置賜地域の観光施設や大学、県の研究機関と連携した取組みを実施した。</li> <li>・鶴岡市立加茂水族館との連携協定により、源流の森森林の文化祭でのクラゲ展示・海ごみワークショップ、加茂水族館でのクラフト・陶芸の出前講座を実施し、森と海のつながりの啓発、両施設の利用拡大を図った。</li> </ul>	評価	<<評価の理由>> ・地域施設や地域の各機関との連携を拡大しており、地域の活性化に寄与している。 ・森と海のつながりというこれまでなかった取組みを行い、両地域の活性化へ寄与している。
		A	
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書に基づく施設の管理運営を行うとともに、サービス向上に向けた自主的な取組みを行っている。</li> <li>・加茂水族館との連携など独創的な取組みにより地域の活性化に貢献している。</li> </ul>		

**【評価指標】**

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。